

平成26年（2014年）第1回市議会定例会本会議（3月26日）

予算決算常任委員長報告（議案）

ただいま議題となっております議案のうち、予算決算常任委員会に付託されました議案第16号から第25号まで、第31号、第33号、第35号、第36号及び第38号から第40号までの以上17件につきまして、委員会における審査の経過と結果を報告します。

本議案は、2月7日の予算決算常任委員会理事会において、担当する各分科会に送付することを決定し、3月4日、5日、6日、7日、10日、11日、12日、13日及び14日の分科会において、詳細な審査を行いました。

これを受け、委員会は、3月24日会議を開き、各分科会委員長の報告を聴取しました。

次いで、質疑はなく、総括質疑を行いました。

総括質疑での主な質疑を申し上げますと、議案第16号 平成26年度横須賀市一般会計予算について、就学支援の公平性の考え方、各部局内での事業展開するためには、何かを削減しなければいけないという意識が働くこと、市民要望に応える姿勢と財政規律のあり方、各部局が計上した予算案を横断的に見た上での予算の優先順位の付け方に

ついてであります。

次いで、一柳洋委員ほか2名から議案第16号に対し、横須賀倶楽部の発足式を行うのであれば、市民の目に触れる当地横須賀で開催すべきであり、予算額も半分以下にすべきである旨の組み替え動議が提出され、これを議題とし、提案理由の説明を聴取して質疑を行いました。質疑はなく終了しました。

次いで、討論において、長谷川昇委員及び小林伸行委員から議案第16号に賛成する旨の意見があり、採決の結果、議案第16号に対する組み替え動議は、賛成少数で否決され、議案第16号は、賛成多数で可決すべきものと決定しました。

また、議案第19号から第21号まで、第33号、第39号及び第40号の以上6件は全会一致で、議案第17号、第18号、第22号から第25号まで、第31号、第35号、第36号及び第38号の以上10件は賛成多数で、いずれも原案どおり可決すべきものと、それぞれ決定しました。

以上で報告を終わります。